

改善箇所説明図



パワーリフトゲートコントロールモジュール



基準不適合発生箇所

バックドアのパワーリフトゲートコントロールモジュールの防水設計が不適切なため、雨水等がリヤゲート開口部内を伝わり、当該モジュールの接続端子部に浸入することがある。そのため、接続端子部が短絡し、最悪の場合、車両火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、パワーリフトゲートコントロールモジュールに防水カバーを装着する。また、当該モジュールの接続端子部の錆を確認された場合は、パワーリフトゲートコントロールモジュールおよびコネクタを新品に交換する。

さらにリヤゲート開口部の防水プラグを対策品に交換する。

識別 : 左側リヤピラーの新設ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。